寄稿

住みやすい町を目指して…㊾

会員の交流促進と支え合う地域づくり

中央自治会　会長　辻村（つじむら）　進一（しんいち）さん（中央在住）

　このコーナーのテーマを、自治会関係者の立場として記述させていただきます。
　それぞれの自治会は、その地域の特性に合った自治会活動を行っておられます。

出来ることから

　中央では、会員相互のコミュニケーションがあって、日頃の近所付き合いが気軽に取れて、地域内での支え合いが、非常時にもつながる地域を目指しています。
　しかし、我が自治会は世帯数80余の小規模で少ない役員数では活動に限界があることから、出来ることから取り組んでいます。

中央 秋の集い

つなげる・つなぐ

　コロナ禍も3年目に入り、自粛生活も長引き、感染防止から活動は、お花見・納涼夏祭り・側溝清掃・レクレーション等の事業中止が余儀なくされています。
　それでも、この2年間、地域集会施設を持たない中央では、町の協力をいただき、町生涯学習センターをお借りして、総会と防災訓練は展示ホールでソーシャルディスタンスを取って開催しました。
　また、感染の合間をぬって、紙芝居や音楽等を楽しむ「秋の集い」では、野外の青空広場でなんとか開催し、もちろん、役員と準備してキメ細かな感染防止策を講じることで、昨秋は小さなお子さんから高齢者まで110名余の参加を得て、そこには皆さんの笑顔と楽しい会話がありました。コロナ禍でも最低限の非常時の備えや会員の交流をつなげて来ています。
　その他にも、町出前型介護予防事業を活用して講師を招き、各種講座や健康体操教室を開催することで高齢者の日常的生活支援や健康維持の介護予防活動を行っています。
　また、環境美化事業でも町生涯学習センターで花の植栽活動を行い、センターを訪れる方々に年間を通しての**おもてなし**も8年目になりました。

自治会存続への懸念

　自治会に求められる役割は防災・災害発生時の対応等含め国県市町が描く地域の仕組みの中で、益々多くなって来ています。
　自治会では、若手や女性の登用等様々知恵を出しながらも何とか踏ん張っています。しかし、運営の参考にと情報収集や交換をしようにも近隣市町や国県等との自治会ネットワークが無く、議員さん達と異なり視察の機会も与えられず、役員の担い手不足もあって存続を危惧する自治会が多いのが実情です。
　町も議会も最近は机上の町政運営感があり、ぜひ足元の地域の現場にも目を向けてくださるように願うものです。

町議会広報広聴常任委員会では、
「住みやすい町を目指して」
活動されている方や団体で、このコーナーに掲載してくださる方を募集しています。
希望される方は下記までご連絡ください。

第2回定例会は6月7日(火)開会
新型コロナウイルス対策のため傍聴は10席となっております。発熱等症状がおありの方は、ご遠慮ください。

編　集
あとがき

　全国で三例目となる松田小学校木造校舎が完成し、4月5日に初めての入学式が挙行されました。保護者の皆さんに付き添われた新入生の姿は、いつの時代でも微笑ましいものです。
　一年生は65人・2クラス。全学年の児童総数は393人とのことですが、私が入学した60年前は約160人で4クラス、児童総数は千人でした。
　少子化を目の当りにする児童数の減少ですが、松田の教育力と子育て支援策に期待し、未来を担う若年層の人口増に取り組んでいきたいと思います。（田代）

議会広報広聴常任委員会
委員長　寺嶋　正
副委員長　内田　晃
委員　田代　実
委員　中野　博
委員　飯田　一
委員　齋藤　永

発行／松田町議会　編集／議会広報広聴常任委員会 ☎0465-84-1335 FAX0465-44-4687　E-MAIL：gikai@town.matsuda.kanagawa.jp